

県北広域の地域材利用推進のためのセミナー開催

平成23年9月28日に、馬淵川上流域森林林業活性化センター、南部アカマツ振興センター共催による地域材利用推進に関するセミナーが二戸市(二戸地区合同庁舎)で開催されました。

1 セミナーについて

「地域の木材で震災復興を！～復興住宅への対応と課題」と称して、以下の3テーマについて講演が行われました。

- (1) 「**構造材に求められる品質管理**」:性能が担保された構造材の供給が重要とされ、検査体制の充実、価格安定の方策として、東北広域の製材事業者、天然乾燥材の生産・管理・出荷を行う事業者の創設が提案されました。
- (2) 「**様々な木質住宅資材と震災廃木材の再資源化**」:木材の性質、住宅資材の解説がされ、震災の瓦礫を用いて製造されたパーティクルボードの経緯、施工事例が紹介されました。
- (3) 「**これから木材産業は何を行っていくべきか**」:復興住宅の需要は、一過性であり、多くの企業が注目しているため、あまり期待できないとし、今後について、森林林業再生プランと併せて考え、地域材の供給体制整備のきっかけとするべきであるとの提案がされました。

2 結果

参加者は65名(建築10名、木材12名、その他(主に行政)43名)となり、二戸、久慈、盛岡、八戸地域の方が参加しました。セミナー終了後のアンケートの結果、参加者の多くがセミナー内容を理解する一方で、内容を絞った形で且つ技術面の講演を望んでいることが明らかとなっております。

3 今後の予定

今後は、久慈、八戸地域でセミナーを行う予定です。



写真1 セミナーの風景



写真2 講師との意見交換